

1969(昭和44)年11月創刊

2023(令和5)年 1月18日(水) 14043号



株式会社日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: <https://homenikkankinzoku.co.jp/>

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円



銅建値は1万円引き下げの122万円

1月の月内建値平均は120万8,400円

JX金属は17日、電気銅建値を1万円引き下げの122万円にすると発表、同日より実施した。1月の月内建値平均は120万8,400円。17日に入電した直近のLME銅相場前場売値が9,145.50ドル。17日の東京市場の米ドルTTSレートは129.46円。この値で換算した採算価格は、118万3,900円。建値と採算価格から見た諸掛りは3万6,100円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

2022年

8月	1110(1) 1090(3) 1110(8) 1140(12) 1110(16) 1140(19)	
	1160(23) 1170(26)	平均1129.5
9月	1140(1) 1120(5) 1160(7) 1190(9) 1210(13) 1180(15)	
	1170(21) 1130(26)	平均1158.5
10月	1150(3) 1170(5) 1190(17) 1170(20) 1190(24) 1200(27)	
		平均1178.9
11月	1170(1) 1250(7) 1230(9) 1250(14) 1220(16) 1190(18)	
	1170(22) 1160(28)	平均1202.1
12月	1190(1) 1200(8) 1190(14) 1180(19) 1160(21)	平均1185.0

2023年

1月	1140(4) 1160(6) 1230(11) 1220(17)	平均1208.4
----	-----------------------------------	----------



黄銅削粉買値は5円引き下げの879円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は17日、黄銅削粉買値を5円引き下げの879円と発表した。

今月4回目の改定。1月の月内買値平均は869.5円。



鉛建値は1万2,000円引き下げの34万8,000円

1月の月内建値平均は35万4,900円

三菱マテリアは17日、電気鉛建値を1万2,000円引き下げの34万8,000円にすると発表、同日より実施した。1月の月内建値平均は35万4,900円。

17日に入電した直近のLME鉛相場前場売値は2,288.00ドル。17日の東京市場の米ドルTTSレートは129.46円。

この値で換算した採算価格は、29万6,200円。建値と採算価格から見た諸掛りは5万1,800円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

2022年

8月	336(1) 345(8) 339(24)	平均340.7
9月	336(1) 339(8) 342(14) 318(26)	平均333.9
10月	336(3) 360(7) 372(17) 348(26)	平均357.0
11月	354(1) 363(8) 357(24)	平均359.7
12月	360(1) 357(7) 354(22)	平均356.9

2023年

1月	369(4) 360(11) 348(17)	平均354.9
----	------------------------	---------

亜鉛くず 現金高価買受け
 亜鉛ドロス・滓 ご照会乞う

再生亜鉛精錬

日進産業株式会社

代表取締役 星山 えり

〒580-0006 松原市大堀1丁目7-30

TEL 0723-31-3945代表

FAX 0723-31-3974

2023 年頭所感 (要旨)

一般社団法人日本マグネシウム協会

会長 井上 正士

令和3年9月に中国のマグネシウム地金価格が高騰し、地金価格が高値のままで迎えた昨年ですが、北京で開催された冬季オリンピックの閉幕後から地金価格は徐々に下がり、夏頃からトンあたり3,000ドル台という水準に戻ってまいりました。その間、ロシア・ウクライナの問題を皮切りに、各種の原料、エネルギー問題、物価の上昇に、記録的な円安と、世界全体で厳しい局面が続いた一年となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響も未だに続いていますが、サッカーワールドカップをはじめとする、あらゆるイベントが有観客で行われるようになり、我々の業界が関係する展示会、学協会の講演大会なども対面式で開催されるようになりました。当会におきましても、総会、講演会を対面式で開催することができました。コロナ禍もあってオンライン化が進み、移動せずとも仕事など様々なことができるという環境が当たり前のようにになりましたが、皆様と直接お会いして交流を図ることが、とても重要な事であることも実感いたしました。

コロナ禍において、残念ながら福岡での開催予定が2年に亘り中止となったIMA国際会議も、昨年はバルセロナで3年振りに対面式で開催されました。世界のマグネシウム業界の方々とも、久しぶりに直接の交流を図ることができました。そこで話題となりましたのは、マグネシウム業界の長年の課題でもありますが、マグネシウム原料の安定供給や、カーボンニュートラル、LCAへの対応に関することでございます。

中国の影響によるマグネシウム地金価格の高騰もあり、世界各地での製錬実施が益々待望されることとなっております。以前からマグネシウムの製錬計画があるオーストラリア、カナダの他、欧州内でも製錬計

日刊金属
外電配信料
(税込)

6 ヵ月 : 46,200 円

12 ヵ月 : 92,400 円

画が動き始め、中国以外での地金生産が増えていこうとしています。我が国におきましても、一昨年よりNEDOの先導研究プロジェクトにおいて、「濃縮海水を原料とするマグネシウムのグリーン新製錬技術開発」を実施しており、当会もこの事業に参画しております。将来的なマグネシウム原料の自給自足を実現すべく、政府のご支援も得ながら、この事業を進めて参りたいと考えております。

カーボンニュートラル、LCAの対応につきましては、当会の環境委員会で検討を行っております。マグネシウムは、実用金属の中で最軽量であることが大きな魅力であり、CO2排出量削減に向けて軽量化が重要となる、自動車分野などにおいてニーズの高い金属材料です。一方で、特に中国で主力の還元法による製錬や、溶解鑄造工程で使用する防燃ガスにはCO2排出量に課題があります。環境委員会におきまして、我が国におけるマグネシウム製品の製造工程におけるCO2排出量を整理し、公表できるようにしていきたいと考えております。

最近では、カーボンニュートラルと合わせ、持続可能な社会の構築も重要なテーマとなっております。ものづくりの業界では、まずリサイクルを確立することが必要不可欠な技術ということになりますが、マグネシウムは市中回収からのリサイクルが達成できておりません。市中回収からのリサイクルを確立させるには、リサイクル技術を確立させいくことも必要ですが、市場を拡大し、需要量を増やしていくことも重要となります。需要の成長に向けては、NEDOの「革新的新構造材料等研究開発」による成果が期待されます。10年に及ぶこのプロジェクトが今年度で終了となりますが、この間に、鉄道車両および自動車の部材開発に取り組み、マグネシウム合金展伸材の製造技術が各段に向上いたしました。鉄道車両向けでは、高速鉄道車両の構体製造を目指した開発が行われ、大型かつ高速の押出型材が製造できるようになりました。内装部材からではありますが、実用化に向けた検討が引き続き行われております。自動車向けでは、室温でもプレス成形可能な圧延板材が開発され、外装部材の試作品製造まで行われるようになっていきます。これらの成果は、今後に行われる展示会等で展示、発表されることとなり、大きな注目を集めると共に新たな市場へと展開されていくことが期待されます。

この他にも、産学官の協力により、自動車のダイカストホイール、生体吸収材料、積層造形などに関する研究開発のプロジェクトも進められています。従来の構造部品から、機能性を応用した分野まで、幅広くマグネシウムが普及するための可能性が広がっていると言えます。本年も、新たなマグネシウム製品や研究の成果が多く発表されることを期待しております。

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ogico OHGIZANI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム<http://www.ogico.co.jp>

2023年 社長年頭挨拶 (要旨)

J X金属株式会社

社長 村山 誠一

今次中計期間も残すところ3か月となったが、やり残したことを確実に実行するとともに、次期中計のスタートに向けた助走期間として、新たな気持ちで万全の準備をお願いしたい。当社は、今次中計を長期ビジョンで目ざす「技術立脚型企業への転身」のための種蒔きの期間と位置づけ、本社移転、製錬事業の体制変更、フォーカス事業の設備増強、新規事業創出、ひたしなへの新工場建設などの各種施策を進めてきた。次期中計では今次中計におけるこれらの施策を確実に収穫につなげていくことが求められる。今年から来年にかけて、特に半導体や通信向けの先端素材分野などで厳しい状況が続くことが見込まれるが、長期ビジョンで目ざす方向性を見失わず、辛抱強く、かつ想像力豊かに、常に前を向いて進んでいきたい。

その上で、新年に際してのお願いをいくつか挙げたい。

一つ目は、「ESG」の重要性である。今次中計においてもESG観点での取り組みを重視し、特に脱炭素の領域においては業界内でもいち早く2030年までに50%削減という数値目標を掲げて取り組んできたが、次期中計においては脱炭素を中心とする「E」の分野に留まらず、地域や社会などとの共生を図る「S」や、株主価値向上に向けた「G」の分野においても相応の取り組みを展開していくことが不可欠になっていくことを意識して欲しい。

二つ目は、「人」と「コミュニケーション」の大切さである。昨年当社は一般職社員を対象とした新しい人事制度を導入したが、その根底にあるのは「仕事本位」の社風であり、新制度を実のあるものとするためには社内コミュニケーションを一層盛んにする必要がある。

銅・非鉄金属地金全般

株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

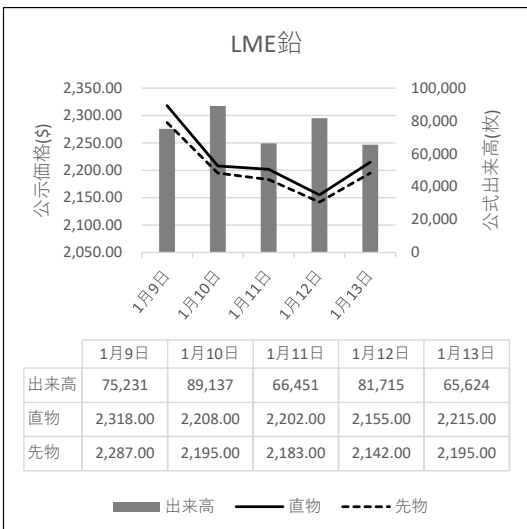
視点をより高いところに置き、小さな世界に閉じこもらないオープンマインドで自由な議論ができる集団となるのが、今後社会の荒波を乗り越えていく上で必要になると確信している。

三つ目は、「リスクマネジメント」への意識を強く持つことだ。当社がこれから向かおうとする付加価値が高い領域での事業展開、技術立脚型経営を推し進めようとするほど、高リターンを裏腹としてのリスクも高まっていくことになる。高収益企業を旨とする上でリスクテイクは不可避だが、リスクを怖がるのではなく、社内各レベルでのリスクマネジメントに対する意識を高めることによって、当社を成長軌道に乗せていきたい。

また、昨年末、タツタ電線の100%グループ化を目的としたTOBの実行を公表した。実行されれば、タツタ電線グループの約1,000人が当社グループの一員として加わることになる。タツタ電線は、祖業である電線部門は長く当社電気銅の主要販売先であるとともに、電子材料部門は優れた技術力とネットワークに裏付けされた高い収益力を有し、当社グループの企業価値向上に多大な貢献が期待されている。あくまでも対等な立場で、両社の価値最大化を実現するために行うものであることをぜひ理解いただき、頼りになる仲間として同じベクトルで仕事をする関係に早くなれるよう、関係する部門の皆さんには誠意をもって接してもらいたい。

最後となるが、こうした成長戦略の着実な実行に向け、当社が実施する施策に関心を持ち、当事者意識をもってアンテナを張り、積極的な参加をお願いしたい。

┃ LME公式値週間推移 1月9日～1月13日(現地)



故銅市況

17日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場場で、直物の前場売値が、前営業日の9,107.00ドルより38.50ドル高の9,145.50ドル。直物の終値は、前営業日の9,168.55ドルより80.36ドル安の9,088.19ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,131.00ドルより43.00ドル高の9,174.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,185.50ドルより81.00ドル安の9,104.50ドル。現地16日のCOMEX（ニューヨーク商品取引所）は、マーチン・ルーサー・69キングジュニアの日の祝日で休場。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の3月限は、前営業日の6万8,840元より240元安の6万8,600元。

17日の東京為替市場TTSレートは、前日の128.92円より0.54円の円安ドル高、1ドル=129.46円。17日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,145.50ドル。この値と17日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の121万2,000円より9,000円高の122万1,000円。

この日、電気銅建値は122万円に引き下げられた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(1月17日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1054~1059、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1019~1024、並銅は984~994、込銅（高品位=約97%）は974、セバは701~706。コーペルは要り用筋で642、それ以外は627ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋652、それ以外622~632どころの値頃。並青銅鋳物削粉は861~866どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1034~1054、上銅新くずが999~1019、普通上銅が974~994、2号銅線が966~986、並銅が964~984、込銅(94-97%)が912、込銅(90-93%)が914、下銅が464~514、セバが666~701、コーペルが582~627、黄銅棒地が577~622、黄銅削粉が572~617、黄銅ラジが537~545、交叉ラジが569~626、黄銅銅鋳物が551~558、送りが312~331、上青銅鋳物が858~878、並青銅鋳物が838~853、上青銅鋳物削粉が853~873、並青銅鋳物削粉が828~848どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (1月前半)

2S=195円~215円、63S=179円~230円、アルミホイール(1P)=96円~210円、ビス付サッシ=85円~94円、エンジンコロ=90円~98円、込合金(機械鋳物)=86円~94円、缶プレス(ソフト)=51円~61円。

関西地区 (1月前半)

2S=208円~210円、63S=210円~245円、印刷版=200円~205円、アルミホイール(1P)=191円~204円、ベースメタル=129円~133円、機械鋳物=86円~89円、ダライ粉=70円~73円、ビス付サッシ=68円~103円、缶プレス=63円~68円。

為替動向

16日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで横ばい。16時、前週末と同水準の1ユーロ=1.0820ドル~1.0830ドルで推移した。米国ではインフレ圧力の減衰によりFRBが利上げペースを鈍化させるとの観測が広がっている。

このためユーロ買いドル売りが入り易かったが足元で急速にユーロ買いドル売りが進んでいた為、持ち高整理のユーロ売りドル買いも出た。終日方向感に乏しい展開となった。英ポンドは対ドルで小幅ながら下落した。前週末の16時と比べ0.0010ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.2200ドル~1.2210ドルで推移した。

17日早朝の東京外国為替市場で円相場は下落した。8時30分、前日の17時と比べ0.31円の円安ドル高、1ドル=128.28円~128.30円で推移した。日銀が金融緩和策を再度修正するとの思惑は市場に根強く、前日の円相場は一時127.22円と7か月半ぶりの高値を付けた。この為、17日早朝の取引では目先の利益を確定させる目的で円売りドル買いが先行した。

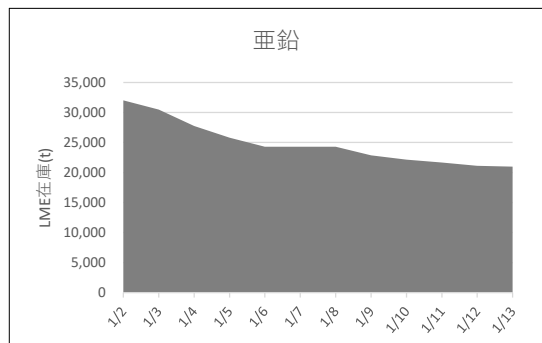
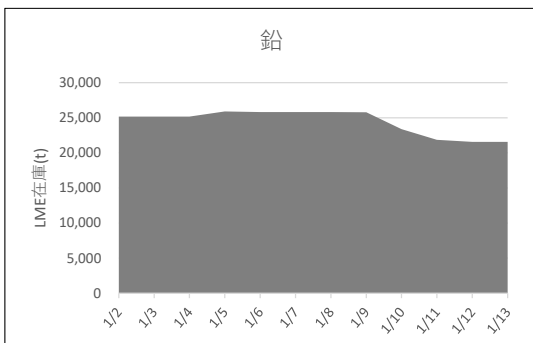
円は対ユーロでも下落。同じく0.33円の円安ユーロ高、1ユーロ=138.94円~138.96円で推移した。

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



LME認定倉庫在庫量推移 1月2日~1月13日(現地)





LME銅相場は続伸 直物終値は9,088.19ドル
 COMEX銅相場は休場 SHFE銅相場は反落
 LME非鉄相場は概ね堅調も午後には軟化傾向
 亜鉛直物終値は3,323.50ドル アルミ直物終値は2,595.25ドル



17日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、1月14日入電の9,107.00ドルより38.50ドル高の9,145.50ドル。6営業日の続伸で9.36%高。この週0.42%の上伸。1月に入って9.04%の上伸。3か月物の前場売値は、1月14日入電の9,131.00ドルより43.00ドル高の9,174.00ドル。6営業日の続伸で9.38%高。この週0.47%の上伸。1月に入って9.21%の上伸。LME公認倉庫の現地1月13日銅在庫は、前日の8万3,850トンより250トン減の8万3,600トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）は、マーチン・ルーサー・キングジュニアの日の祝日で休場。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、1月限が、1月14日入電の6万8,590元より210元安の6万8,380元。7営業日ぶりの反落で0.31%安。この週0.31%の下落。1月に入って3.32%の上伸。2月限は、1月14日入電の6万8,730元より200元安の6万8,530元。7営業日ぶりの反落で0.29%安。この週0.29%の下落。1月に入って3.64%の上伸。

錫は反落

LME錫相場の前場売値は、直物が、1月14日入電の2万8,530.00ドルより405.00ドル安の2万8,125.00ドル。4営業日ぶりの反落で1.42%安。この週1.42%の下落。1月に入って13.41%の上伸。3か月物の前場売値は、1月14日入電の2万8,650.00ドルより150.00ドル安の2万8,500.00ドル。4営業日ぶりの反落で0.52%安。この週0.52%の下落。1月に入って14.46%の上伸。LME公認倉庫の現地1月13日錫在庫は、前日の3,050トンより75トン減の2,975トン。

鉛は続伸

LME鉛相場の前場売値は、直物が、1月14日入電の2,215.00ドルより73.00ドル高の2,288.00ドル。2営業日の続伸で6.17%高。この週3.30%の上伸。1月に入って2.01%の下落。3か月物の前場売値は、1月14日入電の2,195.00ドルより50.00ドル高の2,245.00ドル。2営業日の続伸で4.81%高。この週2.28%の上伸。1月に入って1.58%の下落。LME公認倉庫の現地1月13日鉛在庫は、前日の2万1,550トンより25トン減の2万1,525トン。

亜鉛も続伸

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、1月14日入電の3,301.50ドルより50.50ドル高の3,352.00ドル。

3営業日の続伸で5.56%高。この週1.53%の上伸。1月に入って10.81%の上伸。3か月物の前場売値は、1月14日入電の3,281.50ドルより35.50ドル高の3,317.00ドル。3営業日の続伸で4.84%高。この週1.08%の上伸。1月に入って10.94%の上伸。LME公認倉庫の現地1月13日亜鉛在庫は、前日の2万0,975トンより475トン減の2万0,500トン。

アルミも続伸 アルミ合金はまちまち 北米特殊もまちまち

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、1月14日入電の2,511.00ドルより92.00ドル高の2,603.00ドル。2営業日の続伸で6.38%高。この週3.66%の上伸。1月に入って10.27%の上伸。3か月物の前場売値は、1月14日入電の2,546.00ドルより78.00ドル高の2,624.00ドル。2営業日の続伸で5.98%高。この週3.06%の上伸。1月に入って9.70%の上伸。LME公認倉庫の現地1月13日アルミ在庫は、前日の40万3,250トンより万3,600トン減の39万9,650トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、1月14日入電の2,090.00ドルより2.00ドル安の2,088.00ドル。2営業日の続落で0.14%安。この週0.10%の下落。1月に入って1.65%の下落。3か月物の前場売値は、1月14日入電より横ばいの2,150.00ドル。この週横ばい。1月に入って1.15%の下落。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、1月14日入電の2,060.00ドルより1.00ドル高の2,061.00ドル。上伸して0.05%高。この週0.05%の上伸。1月に入って1.86%の下落。3か月物の前場売値は、1月14日入電より横ばいの2,146.00ドル。この週横ばい。1月に入って2.19%の上伸。

ニッケルは反落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、1月14日入電の2万7,175.00ドルより75.00ドル安の2万7,100.00ドル。反落して0.28%安。この週0.28%の下落。1月に入って10.93%の下落。3か月物の前場売値は、1月14日入電の2万7,400.00ドルより240.00ドル安の2万7,160.00ドル。反落して0.88%安。この週0.88%の下落。1月に入って11.10%の下落。LME公認倉庫の現地1月13日ニッケル在庫は、前日の5万3,262トンより6トン増の5万3,268トン。

<https://nikkankinzoku.co.jp/>

PW: nikkin202301

LME公示価格(US\$)／1月16日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,145.50	28,125.00	2,288.00	3,352.00	2,603.00	2,088.00	2,061.00	27,100.00
	前営業日比	38.50	▲ 405.00	73.00	50.50	92.00	▲ 2.00	1.00	▲ 75.00
先物	公示価格	9,174.00	28,500.00	2,245.00	3,317.00	2,624.00	2,150.00	2,146.00	27,160.00
	前営業日比	43.00	▲ 150.00	50.00	35.50	78.00	0.00	0.00	▲ 240.00

海外非鉄金属相場

(1月17日 入電・現地 1月16日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 錫HG, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 鉛, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: アルミHG, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: アルミ合金, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 先物, 出来高.

Table with columns: 前日比, 後日比. Rows: ニッケル, 現物, 先物, 出来高.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 1月限, 2月限, 3月限, 4月限, 5月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キログラム), COMEX, 上海. Rows: ドル・円, TTS, 129.46, +0.54.

フリー・マーケット

米国生産者価格 (地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 2410.0 (0.0), 2410.9 (0.0).

NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.35 - 257.35, 353.35 - 357.35.

ロンドン相場 (ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), etc. Values: 1917.00 (9.85), 11300 - 12000, etc.

KLTM錫 (MYR/KG, 出来高トン)

Table with columns: (16日), (17日). Rows: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ.

LME在庫 (トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

上海在庫 (トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: (1/13 現在), 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

LMEプレマーケット (ドル)

Table with columns: 先物気配, (1/17), (3:00AM現地). Rows: 銅, アルミ, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

上海相場

Table with columns: トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 68380, 18475, 24140, 15245, 207240, etc.

※17日のKLTMは入電がありません。

非鉄金属製品相場

(1月17日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪		東京		鉛亜鉛製品	大阪		東京		電線(現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)		
銅小板2.0ミリ	◆1520	◆1445	垂鉛板0.3×3×7	620	620	V V F						
建築用0.3ミリ	◆1570	◆1495	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790				2C×1.6	56~58		
銅大板2×1×2	◆1650	◆1645	給水管13ミリ	300	300				2C×2.0	99.5~102		
銅管(ベース)	◆1650	◆1645	鉛板1.5ミリ	590	590				3C×1.6	104~107		
水道用管(m当たり)13ミリ	◆1560	◆1555	鉛線3ミリ	465	465				3C×2.0	152~155		
銅棒25ミリ	◆1430	◆1415	軽圧品		大阪	東京	I V					
銅条1.5×100	◆1485	◆1460	アルミ箔0.007ミリ	1115	1135				1.6mm	31.9~33.9		
銅線0.9ミリ	◆1510	◆1475	// 小板1ミリ	750	765				5.5sq	87~92.5		
銅帯6×50	◆1440	◆1415	// 大板1ミリ	730	755				14sq	217~231		
銅平角線	◆1710	◆1645	// 5052板	785	805			CV-T				
黄銅小板2.0ミリ	◆1245	◆1220	// 6061板	1315	1335				600V 3C×38	1654~1758		
// 0.3ミリ	◆1275	◆1250	// 2017板	1240	1365				600V 3C×60	2547~2707		
黄銅大板2×1×2	◆1395	◆1400	// 線3ミリ	730	750				600V 3C×100	4279~4548		
黄銅管	◆1715	◆1700	// 快削棒50ミリ	950	970				6kV 3C×38	2653~2815		
復水器用黄銅管	◆1685	◆1670	// 合金棒50ミリ(17S)	935	950				6kV 3C×60	3705~3931		
黄銅棒快削25ミリ	◆1010	◆1000	// 合金棒50ミリ(56S)	890	910			CVV			(関西~関東)	
六角棒	◆1040	◆1030	貴金属(一般小口向け)						3C×2	129~132		
四角棒	◆1070	◆1060	白金(グラム)		◎4941				4C×2	173~177		
鍛造用	◆1050	◆1040	パラジウム(グラム)		◆8327				6C×2	246~252		
ネーバル	◆1150	◆1140	金(グラム)		◎8776				7C×2	281~288		
高力	◆1150	◆1140	銀(キログラム)		◎113630			合金鉄			11月輸入単価(CIF)	
黄銅線6ミリ	◆1420	◆1400	レアメタル輸入価格			11月通関(CIF)			フェロマンガン2%以上炭素含有	243		
黄銅平角線ロール仕上	◆1620	◆1610	金属ケイ素(99.99%未満)		491			// その他	266.4			
黄銅条1.5×100	◆1240	◆1235	モリブデン酸化物		3917			フェロシリコン55%以上	324			
リン青銅板一般用1.0ミリ	2630	2820	タンタル		75327			フェロクロム4%以上炭素含有	290.8			
// バネ用0.3ミリ	2860	3060	マグネシウム		516			フェロモリブデン純分60%以上	4557			
リン青銅棒25ミリ	2800	3010	コバルト		7571			フェロバナジウム	3591			
リン青銅線3ミリ	3100	3310	インジウム		28021			フェロニッケル33%未満	767.1			
洋白板一般用1.0ミリ	3870	4020	電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ						326			
// バネ用1.0ミリ	4030	4190										

減摩合金 (500kg以上、大口価格)	1月16日改定		銅合金地金		1月5日発表	
			(標準価格)		大阪	
1種		4320	BC 1種		1225	
2種		4200	2種		1535	
3種		4070	3種		1615	
4種		3580	6種		1335	
5種		3430	7種		1435	
7種		1265	YBSC 3種		1095	
8種		1110	LBC 3種		1565	
9種		970	PBC 2種		1635	



<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(1月17日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		36,000 ~ 39,000(1)						
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場		東京 仲間相場		地 金		大阪 仲間相場		東京 仲間相場				
1トン以上外税持込						高値		安値		高値		安値		
1号銅線	◆1090	◆1085	電気銅	◆1182	◆1177	◆1184	◆1179	山元建値	電気銅	1220(17)	金	7,955(17)		
2号銅線	◆1048	—	電気亜鉛	463	457	463	457	() 実施日	電気鉛	348(17)	銀	102,130(17)		
上銅(新切)	◆1061	◆1055	蒸留亜鉛	451	445	451	445		電気亜鉛	475(13)	錫(99.99%)	5,000(16)		
雑ナゲット	◆919	◆915	再生ダイカスト亜鉛2種	386	380	386	380							
並銅	◆1003	◆984	再生亜鉛(98%)	338	332	338	332							
下銅	◆984	◆956	電気鉛	◆329	◆326	◆329	◆326							
銅削粉	◆978	◆959	再生鉛1号	◆310	◆300	◆307	◆302							
銅さい(30%)	25	25	再生鉛3号	◆315	◆311	◆312	◆308							
新切黄銅セバ	◆803	◆814	錫1号	3950	3900	3950	3900							
コーベル	◆771	◆772	アンチモン	1650	1600	1650	1600							
黄銅棒地	◆769	◆760	ニッケル(メッキ用)	3650	3600	3650	3600							
黄銅削粉	◆763	◆756	コバルト	6500	6200	6500	6200							
並黄銅	◆709	◆674	セレニウム	3100	2900	3100	2900							
黄銅ラジエター	◆612	◆600	ビスマス	1500	1400	1500	1400							
交叉ラジエター	◆657	◆635	カドミウム	600	550	600	550							
黄銅鑄物	◆714	—	マグネシウム合金	470	450	470	450							
山送り(55%)	◎400	—	アルミ地金99.70%	◎378	◎374	◎380	◎376							
上青銅鑄物	◆856	—	アルミ二次地金99%	328	323	328	323							
並青銅鑄物	◆854	◆830	〃 90%	313	308	313	308							
上青銅鑄物削粉	◆849	—	アルミ二次合金ADC12	437	432	440	435							
並青銅鑄物削粉	◆839	◆815	鑄物用C2BS	462	457	464	459							
新切リン青銅(伸銅)	—	◆1071	青銅合金地金3種	◆1595	◆1585	◆1640	◆1630							
〃 (鑄物)	◆967	—	〃 6種	◆1305	◆1295	◆1310	◆1300							
リン青銅削粉	◆885	◆865	ハンダ錫60%	2910	2870	2930	2900							
新切洋白(電子材)	◆897	◆872	〃 50%	2525	2475	2545	2515							
新切亜鉛	234	234	〃 40%	2205	2145	2160	2130							
ダイカストくず	199	199	減摩合金2種	4155	4125	4160	4130							
亜鉛ドロス	178	189	〃 4種	3535	3510	3540	3510							
上鉛	◆148	◆146	〃 7種	1210	1160	1210	1160							
電池素鉛ケース込	30	30	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		90	85							
活字鉛	◆133	◆130	〃 ダライ粉			75	70							
新切アルミ1級	230	224	高耐食ステンレスSUS316			250	250							
新切サッシ1級	230	222	耐熱ステンレスSUS310			450	450							
新切合金1級	215	202	13クローム 新切			23	24							
機械鑄物1級	170	182	ハイス 9種			255	255							
ビス付サッシP	201	197												
合金削粉P	115	126												
込ガラP	108	115												
カン・バラ	163	154												

非鉄金属材料相場面

PW:nikkin202301